



JCNA通信 37号に寄せて

会長 清水 裕子

初夏の日差しが強くなりました。会員の皆様はいかがおすごでしょうか。6月29日は聖ペトロ・聖パウロ使徒の祭日でした。シモンと呼ばれていた人がキリストから「岩」を意味するペトロと名付けられ、教会の頭となりました。パウロはキリスト者を迫害する側から回心し異邦人のために働く使徒になりました。この二人を思いながら、私たちはどのような宣教のあり方で働くかを考えさせられます。

本会は5月12日に第69全国総会をオンライン開催し、昨年度の事業報告と決算、今年度の事業計画と予算をお認め頂きました。また、高齢・療養などを理由とした「準会員」の資格を新たに定義し、タルチシオ菊地功東京大司教をカトリック医師会と共に顧問として確認させて頂いたこと、同時に顧問司祭の任期更新手続きを顧問司教にご指示頂いたことを規約に反映させました。また組織の健全性を担保するために外部監査を実施し、全国の支部間の情報交換を活発にするために総会后に本部役員と全国支部長のグループラインを開設しました。各支部で質問したいことにすぐにお答えでき、またアジア地区長からのメッセージをすぐに全国に送付することができるなど、早速活用しています。

会は1957年の創立以来67年を迎えますが、多くの方に支えられています。今総会では、石原貴子様は9年間の長きにわたり3代の会長の元で会計として補佐して下さり、藤井智恵美様は5年間にわたり書記のお務めを果たされました。また支部ではSr.大山久美子長崎支部長と牧山幸二福岡支部長が退任されました。当方はこの方々への労いの気持ちをこめて、仕事の「おわりに」唱えていただく祈りを作成し、大司教認可を得てホームページに掲載しました。先人のご奉仕に倣って皆様がカト看の灯火を照らしてください。札幌でお目にかかりましょう。

◆理念と基本方針

本部顧問司祭(名古屋支部顧問司祭) 暮林 響

近年、どこの企業体も「理念と基本方針」を打ち出している。病院も例に漏れない。英語では、Vision-Mission Statementと言われる。本来Visionは「めざすべき目標」、Missionは「目標に向けて成すべき使命」であり、これを内外に向けて宣言することで、内部の鼓舞と外部からの評価を一度に高める啓発行為である。

例えば、スターバックスコーヒーなどは、1990年に最初の宣言作りに取り組み、2008年と2014年に更新している。最近では2023年にも刷新があった。その宣言からは、店頭でもネット上でも「人間らしいつながり」を意識した店でありたいという尊い思想が伝わる。その刷新の際には、同社は「A new moment. A new mission.」という言葉をもってこの宣言の刷新に取り組んだと語る。

JCNA名古屋支部では、2023年度の振り返りを行った際、いくつかの活動後の空虚感や疲弊感、支部の目的の希薄化が取り上げられた。そこで支部総会を開くにあたり、自分たちは本当にどこに向かっていきたいのかを話し合おうということで、呼びかけが行われた。その支部総会では、バザーや鑑賞会・講和などの後の空虚感や疲弊感は、感じたことや大切にしたいことなどを分かちあう場が不十分であったことが原因だったのではないかとこの洞察や、先輩会員による昔の支部の活動の様子からの学び、分かち合いに用いた文書の適正に関する見直し、JCNAで魅力を感じていたことは何だったのかなどが積極的に言語化され、会員間で共有された。これは今後の宣言作りに役立つことだろう。

名古屋支部にとっては、スタバで言うA new momentは、自分たちのわだかまりの吐露をもって始まっ

た。

それは不具合であり、処方が必要な状況だった。癒しの手を必要としていたともいえる。そしてその不具合と向き合ったことが、A new mission を作り始めている。主の癒しの手が届き、歩みが始まったといえよう。パウロが語る「今や、恵みの時、今こそ、救いの日」が訪れた。新しい使命に生きねば。

JCNA 第 69 回全国総会をオンラインで開催しました。

開催日時: 2024 年 5 月 12 日(日) 17 時~20 時 45 分、オンライン

出席者: 支部長

札幌支部: 佐藤昇子氏、仙台支部: 小関睦氏、東京支部: 千田宏子氏、横浜支部: 井坂玲子氏、名古屋支部: 鈴木光恵氏、京都支部: 西川加之子氏、大阪高松支部: 井上理恵子氏、高松 G: 河上真理氏、広島支部: 阿川昌子氏、福岡支部: 牧山幸二氏、長崎支部: Sr. 大山久美子氏、鹿児島支部: Sr. 澤ヤエ子氏

顧問司祭 本部: 暮林響師、長崎支部: 鶴巻健二師

本部役員 会長: 清水裕子氏、副会長: Sr. 石岡ヒロ子氏、財務: 石原貴子氏、次期財務(新): 山口道子氏、広報: 織井優貴子氏、書記: 藤井智恵美氏

指名役員 経理: 堀田光子氏、次期広報: Sr. 水浦ふじ子氏 陪席者 長崎新支部長: 山本ふみり氏

議長・書記の選任

会長指名により、議長を本部役員の織井氏、書記を本部役員の藤井氏が担った。

会議の成立

議決権のある出席者 19 名が出席され、欠席者からは委任状が提出され、総会は成立した。

祈り

開催にあたり、JCNA【ナースの祈り】「仕事のはじめに」を唱和した。

※「ナースの祈り」については、2024 年 1 月に、タルチシオ菊地大司教より認可された祈りとなっています。

「ナースの祈り」については 2024 年 8 月に開催される第 62 回全国大会に提示する「会員手帳」をご覧ください。

その後、本部顧問司祭 暮林神父様の「主の昇天」に関する講和のあと、会議は開催されました。

【総会概要】

会長から、1)カトリック医療団体のミッションを明確にする、2)会の伸展を図るという 2 点について本年度の方向性として説明があった。

総会概要は、2023 年度の事業報告に続いて、2023 年度決算報告、監査が行われた。監査は、今回について各支部から持ち回りで 2 名の支部長による内部監査と、新たに外部監査が行われた。外部監査は、長崎聖フランシスコ病院執行役員、末吉征志氏により実施された。外部監査には特に丁寧に決算内容等見ていただき次年度への意見も頂いた。

次に、2024 年度の活動方針、予算(案)の提示、会の会員資格や、会の組織として、本部は日本カトリック司教団の担当司教を顧問とすること、各支部顧問司祭の選出・任命についてなどの規約改正の審議が行われた。また今後の全国大会の担当支部が審議され、2025 年度は本部主催で沖縄、2026 年度は大阪・高松支部、2027 年度は JCNA 創立 70 周年記念大会として東京支部が担うことが決定した。

以下に 2024 年度活動の方向性とそれを受けての事業計画、予算を掲載する。

1. 2024 年度活動の方向性

活動テーマ 「人が独りでいるのはよくない」・・・関係性をいやすことで病者をいやす

1)カトリック医療団体のミッションを明確化する。

①本会は創立 66 年となり、会として充実した実績を有するため、そのレガシーを後世に遺すことは、後に続くミッションを力づけるものとなる。 ☞ 2024 年度:全国大会の再開と今後の計画検討

②日本カトリック司教協議会の公認団体としての組織について、66 年の経過を経た状態を自己点検し、適切に是正し、公認団体としての基準を整備する。国際機関との連結、国内司教区との連携、公認の基準を満たす人事、財政の健全化を図る。 ☞ 2024 年度:CICIAMS との情報交換、総会による全国支部の情報交換、3 団体の連携、顧問司

教との情報交換、人事手続きの整理、HP による情報公開、などの実施

2) 本会の進展を図る

①社会的評価に耐えうる広報活動、支部の分かち合い、会員のすそ野拡大を図り、カトリック看護分野における宣教的役割を推進する。☞ **2024 年度:カトリック看護師養成機関との連携、合同支部活動の促進**

②少子高齢社会における人口構成を背景とし、本会員の構成特徴から、高齢会員の役割と尊重、地域間格差の是正、オンラインや Web 活用と対面分かちあいの尊重、次世代育成など、創立 100 年を見据えた組織力の基礎を構築する。☞ **2024 年度:準会員資格の再定義、学生会員のフォロー、本部役員機能強化など実施**

それぞれ会員のみなさまは、支部活動とともに、本部の活動にもご参加、ご協力をお願いいたします。

2. 2024 年度事業計画は下記の内容です。

| 部門 | 事業 |
|-------|--|
| 事務局 | ・第 69 回全国総会(5 月 12 日オンライン)、議事録全国配信予定 ⇒ 5 月 12 日オンラインにて開催 ・2024 年度臨時総会(8 月 25 日天使大学)、総会誌編纂 ・本部役員会:年間 4 回予定、対面会議年 1 回予定、メール会議随時開催 |
| 大会 | ・第 62 回大会:札幌支部:2024 年 8 月 24 日~25 日天使大学、札幌 11 条教会会場 ・第 63 回大会:沖縄開催予定(本部主催)、第 64・65 回大阪高松支部/東京支部 ⇒担当支部決定 ・ブロック制(あるいは管区)による開催の推進 |
| 広報 | ・2024 年 5 月に 37 号(総会報告)、9 月に 38 号(全国大会・世界総会報告)、12-1 月に 39 号の発行予定 ・カトリック新聞名刺広告(8 月、12 月、病者の日) ・さくらインターネットのホームページ更新・整備 ・Twitter 開設検討 ・「70 周年に向けて」のワーキングを検討 ・広報班の構築 |
| 渉外 | ・CICIAMS 世界総会:2024 年 8 月 6 日(ケニア、ナイロビ開催、会長出席申込、織井 CICIAMS 担当申込) ・CICIAMS Regional Conference:清水会長が発表予定(2024 年):2024 年 3 月 15 日受理 ・CICIAMS アジア地区会長会議(オンライン) ・日本カトリック医療団体協議会(3 団体)の運営委員会;年間 1 回対面開催予定 ・交流レターの実施 ・カトリック大学看護学部評議員臨時総会へ招聘予定 ⇒ カトリック大学看護学部 2 校へ招聘を行う。 |
| 研修 | ・本部主催黙想会:2025 年 2 月 11 日前後 ・支部主催(合同)研修会 ・「会員手帳」配布予定 |
| 次世代育成 | ・2024 年 8 月日本カトリック医師会主催医療関連学生セミナー(新潟教区佐渡ヶ島)の広報 ・全国大会での学生ワーキング検討 ・「スピリチュアルケア・研究会(仮)」検討 ・ベトナム語による「リプロダクトヘルス・オンライン相談」の検討 |

○事業内容を反映した具体的な活動についての詳細はホームページに掲載します。ホームページもアクセスしてみてください。

3. 2024 年度予算

事業計画と合わせてご覧ください。

予算は、今年度の収支差額が、マイナス(赤字)となる予測ですが、上記事業計画で挙げられている CICIAMS 世界大会の参加、CICIAMS 年会費 2 年分の計上、また円安の影響があり、支出の超過となりましたが、遠方での世界総会は向こう 4 年程度の予定がないことなどから、回復の見込みがあることについて説明がありました。

貸借対照表については、今年度から新たに総会に提示されましたが、本通信では省略いたします。

| | | (2024年4月1日～2025年3月31日) | | |
|------|---------------------|------------------------|-------------------|---|
| 科目 | | 予算額 | 2023年度からの差異(△減) | 摘要 |
| 会費収入 | 入会者会費 | 80,000 | △40,000 | |
| | 2024年度会費 | 790,000 | | 会員196名+準会員3名(2024/3/31現在) |
| | 過年度会費 | 0 | | |
| 事業収入 | バザー収益 | 0 | | |
| 雑収入 | 寄付金 | 0 | | |
| | 過払い金 | 0 | | |
| | 受取利息 | 50 | | ゆうちょ銀行 |
| | 当期収入計(A) | 870,050 | | |
| | 前期繰越収支差額 | 7,309,732 | | |
| | 収入合計(B) | 8,179,782 | | 前受金額は貸借対照表に移動 |
| 支出の部 | | | | |
| 科目 | | 予算額 | 2023年度予算からの差異(△減) | 摘要 |
| 事業費 | 全国大会費 | 150,000 | 150,000 | 8/24, 25札幌支部支援150,000 |
| | 全国総会費/臨時総会費 | 300,000 | 0 | 大会開催中臨時総会での本部役員(6名)参加費・宿泊費・交通費300,000 |
| | 研修会費 | 30,000 | | 本部主催「世界病者の日」黙想会等 |
| | 広告費 | 80,000 | | 新聞広告費(3回分)⇒カト新聞広告費(夏/冬)36,300、世界病者の日31,900 Web(ドメイン料4,253+550、サーバー料5,238+550)計10,576 |
| | CICIAMS参加費 | 400,000 | △200,000 | ナイロビ総会参加(会長参加費) |
| | 日本カトリック医療団体協議会参加費 | 50,000 | | 対面、2月 |
| 管理費 | 通信運搬費 | 70,000 | | 送料、手数料 zoom契約料(22,110) |
| | 会議費 | 0 | | |
| | 旅費交通費 | 100,000 | | 顧問司祭・会長・副会長と顧問司教面談 |
| | 消耗品費 | 1,000 | 1,000 | 事務用品 |
| | 事務局費 | 10,000 | 10,000 | 保存資料電子データ化手数料見送り |
| | 印刷費 | 50,000 | | 会員手帳作成 |
| | CICIAMS年会費 | 130,000 | △65,000 | 2年分(今年度無し'24年'25年分)年420\$ |
| | 日本カトリック中央協議会公認団体更新料 | 10,000 | | 1年分(1月) |
| | 日本カトリック医療団体協議会年会費 | 40,000 | △20000 | 2年分(聖マリア病院)2024年25年 |
| | 予備費 | 0 | | |
| | 当期支出計(C) | 1,421,000 | | |
| | 当期収支差額(A)-(C) | -550,950 | | |
| | 次期繰越収支差額(B)-(C) | 6,758,782 | | |

4. 規約改正について

1) 第3章にある「会員」

・準会員の資格について、

保健医療福祉またはそれに関連する課程を履修している学生(学生準会員と称する)および高年齢・病気により祈りをもって本会に奉仕するもので、所定の入会手続きを得た個人を言う。(アンダーライン部分を追加・訂正しました)

その理由として、基本的には、高年齢であっても病気であっても会員として、支部活動に部分的に参加し、祈りによる奉仕も可能であることから、高年齢の方にも準会員資格があることを明記しました。学生については、会のことを知り視野を広げて、支部のミサや研修等に参加するなど従来の意図に変更はありません。学生は入会時在学を証明する書類の提出が必要です。

2) 第4章にある「会の組織及び役員」

第20条の本部役員の職務権限の6番目に「本部役員会は、日本カトリック司教団の担当司教を顧問とし、助言を受ける。」が加筆されます。

3) 第5章にある「顧問司祭」の第26条、1に挙げた 顧問司祭の選任について

現行：顧問司祭の選任は、本部については会長、支部顧問においては支部長が担当司教(支部においては教区長)に任命を依頼する。

改正後：顧問司祭の選任は、会長が、担当司教(支部においては教区長)に任命を依頼する。

上記2の職務権限、および3の顧問司祭の開催にあたっては、菊地功大司教との面談にて確認したことに基づいての改正となりました。

その他議題は、2024年度の事業概要に挙げた活動の進め方等が確認され、次回の全国総会が第62回札幌全国大会にて臨時総会として行うことが確認され、「アヴェマリア」の祈りを唱和して【閉会】しました。

○会員のみなさまは、各支部から JCNA の活動に参加されていることがほとんどだと思いますが、会の運営や、会の目指す方向やその実現のための活動を改めて意識していただき、本部と支部の連携の様子などからも、会の課題等知っていただけたら幸いです。

CICIAMS コーナー

◆CICIAMS 世界大会

2024年8月6日、ケニア国ナイロビにて開催されます。今年は CICIAMS 本部、地域、各種委員会のすべての役員が改選となります。世界総会には JCNA の議決権を行使するため清水会長、CICIAMS 顧問司祭のケン・スレイマン札幌支部顧問司祭、オブザーバーとして本部広報の織井優貴子氏が参加予定です。尚、清水会長は総会でアジア地区長フランシスカ・マランティン氏の代理でアジア地区9カ国についての発表を行います。

また、8月7日～9日のアフリカ地域会議では、清水会長が「Synodality for Japanese Catholic Nurses」、ケン・スレイマン神父が、「スピリチュアルケアについて」を発表予定です。

次号通信には、CICIAMS 世界総会の様子をお知らせできることと期待しましょう。

◆CICIAMS からの「人間の尊厳について」を配信しましたが、各方面から深く理解したいとのご意見が寄せられました。CICIAMS の根幹となるメッセージを、日本において実現していく道筋を考え、行動できるよう、分かち合えればと期待いたします。

※JCNA のホームページに CICIAMS からのニュースレターなど載せています。ご活用ください。

本部からのお知らせ

○さて、先にご報告しました第69回全国総会にて、本部役員に新しく任命された方々と、お役目を終わられた方からのご挨拶をいただいています。ここにご紹介させていただきます。

♣ 今回の第69回本部全国総会で新役員となられた財務 山口道子氏、広報 Sr.水浦ふじ子氏に自己紹介をしていただきました。

◎財務担当 に任命されました 山口道子氏

山口道子と申します。東京生まれ、東京在住です。

新宿の病院に生まれ、お産を担当した助産師が私の代母になりました。「私は道であり真理であり命である」が、名の由来です。父母ともにカトリック、長崎五島に由来があったり、叔父が神父、叔母たちがシスターだったり、という環境の幼児洗礼です。深く考え学ぶことなく、自然体で現在に至っています。保健室の先生を夢みた進学でしたが、生まれた場所で看護師として社会人生活をスタートしました。ちょっとした好奇心と御縁に導かれ、札幌での学生生活を経て、保健師助産師の免許を取得の後、助産師の臨床、技術系行政官を経験し、今は団体職員を本業に、暮らしの保健室に携わっています。

どれもが中途半端になりそうで、信仰生活からも遠いところ、抵抗した JCNA への復活ですが、これもまた運命と少しずつ受け入れたいと思います。出来ることを出来るだけ、で、相済みません。よろしく願いいたします。

◎広報担当 に任命されました Sr. 水浦ふじ子氏

この度、清水会長より広報担当の陪席役員をご指名頂きました水浦ふじ子です。五島市の「お告げの MARIA 修道会聖 MARIA 病院」に新人看護師から 60 歳の定年まで勤務しました。JCNA にも入会し全国大会にも何度か参加しました。その中で印象に残っているのは 1993 年に名古屋で開催された CICIAMS アジア大会です。あざやかな民族衣装で参加している方々もいました。退職 15 年前に JCNA を退会し代わってカトリック医療施設協会の全国大会に毎年参加させて頂きました。日本にあるカトリック病院を知り、また、カトリック病院の使命と存在意義について理解を深めるよい機会となりました。退職後パストラルケアについて学び、その 7 年後に長崎の聖フランシスコ病院でパストラルケアに携わるようになり現在に至っています。人が人生の幕を閉じるとき、ともに居させて頂くという光栄な役割に招かれたことは計り知れないお恵みです。聖霊の導きを願いながら皆様のご指導のもと広報担当の役割を果たさせて頂きます。何卒よろしくお願いいたします。

♣ 第 69 回全国総会で本部役員を退任された石原貴子氏、藤井智恵美氏からご挨拶をいただきました。

石原貴子氏

2023 年度全国総会が、オンラインで無事終了しました。私は、今期をもちまして財務担当を退任いたしました。いつの間にか 9 年の年月が経ち、ここまでなんとか来られましたのも皆様のお力添えのお陰と、感謝しております。誠に、ありがとうございました。

2023 年度から財務と名称が変わり、何か大きなプレッシャーを感じておりました。会計時代からも、経験がなく知識もない私が仰せつかっていて良いものか、ただただミスのないようにと思うばかりで、JCNA のために貢献できたのか自信がありませんでした。

今後は東京支部での活動を通して、会の発展に奉仕できればと思っております。

藤井智恵美氏

JCNA 本部書記として 5 年間、お世話になりました。忍耐強く、あらゆる面でご指導をいただきました方々に感謝申し上げます。

社会人として初めて就職したカトリック系の病院で会に入会してから、その後はカトリック医療系の環境から離れておりました。第 56 回の東京支部担当の全国大会で、大会の運営の裏方として会に復帰、その後に本部書記の役割をいただきました。思えばほとんどをコロナとともに歩み、オンラインに四苦八苦しながらの会との関りでした。現在ではオンラインの環境は、それが当たり前の様変わり状況で会の運営も大きな変化の時でした。本部も今年度から広報という新しい部門になり、より幅広い活動へと飛躍していくことと存じます。

今後は東京支部の会員として会とともに歩めればと思っております。ありがとうございました。

全国大会関係のお知らせ

○第 62 回 JCNA 全国大会 札幌 2024 年 8 月 24 日(土)～25 日(日)

札幌支部が大会の運営を担っていただき、札幌市北十一条教会と天使大学が会場となります。

※プログラム・内容等、参加申し込みなどの情報は、JCNA(日本カトリック看護協会)ホームページからアクセスできます。コロナ禍後の久々の対面での大会です。奮ってのご参加をお待ちしております。

○2024 年度第 36 回カトリック医療関連学生セミナーが、8 月 16 日(金)～17 日(土)に開催されます。新潟教会に集合し、「カトリックと国際協力」の講演を伺い、その後佐渡に移動して、キリシタンの軌跡をたどる 2 日間となっています。詳細をお知りになりたい方は JCNA ホームページでご案内しています。

編集後記

8 月 23 日、24 日に札幌で開催されます第 62 回全国大会で本部から、会員の皆様に「会員手帳」をお配りします。各支部からお手元に届けられます。お手元に置いてご活用ください。



| | |
|-------|----------------------|
| 発行日 | 2024 年 7 月 1 日 (月曜日) |
| 発行責任者 | 清水 裕子 |
| 編集 | 日本カトリック看護協会本部 |
| 創刊年 | 1957 (昭和 32) |